

TIC NEWS

vol. **84**
2007.7

(財)とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F(タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail: tic@tic-toyama.or.jp

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>



キリル文字の考案者とされた聖職者キュリロスとメトディオス兄弟の碑

富山県・ロシア沿海地方友好提携15周年

富山県とロシア沿海地方が1992年に友好提携を結んで今年で15周年になります。1993年に伏木港－ウラジオストク商業港の定期貨客船が、1994年には富山空港－ウラジオストク空港間の定期便が就航し、利用者は年々増加しています。

この間、富山県と沿海地方は、県職員の派遣、留学生、研修員の受入れ等の友好親善交流、渡り鳥共同調査、日本海沿岸の漂着物調査などの環境協力事業、その他経済、文化等、広範囲にわたり相互交流を深めてきました。

生活支援日本語ボランティア 養成講座 in 氷見



平成10年度から始めた日本語ボランティア養成講座、今年度は5月12日から6月2日まで氷見市ボランティア総合センターでも開催しました。氷見では6月16日から日本語教室も開講し、このボランティア養成講座を修了された地域在住の方が実際に活動されています。

毎週土曜日1回3時間、計12時間という強行軍の講座となりましたが、地域型日本語教室で行う3つの活動①生活密着型日本語 ②トピック型 ③体験型を中心に熱心に受講されました。

また、講座では、いかにわかりやすい日本語を使って相手に伝えるかということ、実際に外国人の方をゲストに招いて体験しました。体験を終えて、言語面での工夫には「短い文章でわかりやすい言葉を使うこと」や態度・心理面においては「あまり外国人ということを意識せず、隣人として笑顔で話す」、「第一はやはり笑顔！つまらない顔などしたら、心理面で相手を傷つけてしまう」などの感想が聞かれました。

日	内 容
5月12日	アイスブレイキング 「地域の外国人」 ・今日本語教育に求められているもの 「わたしにできること」 ・ケーススタディー 「外国人と接する時の自分の日本語を見直すために①」 ・外国人の目からみた日本語のしくみ(1)
5月19日	「外国人と接する時の自分の日本語を見直すために②」 ・外国人の目からみた日本語のしくみ(2) 「相手のこと(外国人参加者)を知る」 ・どのように／何を 「日本語が余り分からない人と日本語で話そう！」 ・実際に外国人と話してみる
5月26日	「わかり合う日本語」 ・日本語で外国人と話すとは 「外国人と接する時の自分の日本語を見直すために③」 ・わかりやすい話し方 「生活密着型日本語を取り入れた活動」 ・活動の方法
6月2日	「多文化共生を目指した双方向の学び」 「トピック型の活動」 ・活動の方法 「体験型の活動」 ・活動の方法

ブラジルー日移動総領事館

日時 平成19年6月3日(日) 8:00～
場所 高岡市本丸会館

ブラジル人のパスポート更新手続きや医療相談(内科)、法律相談、入管相談、生活相談を行う「一日移動総領事館」が開催されました。



この事業は、在名古屋ブラジル総領事館が富山県、高岡市と連携して平成11年から実施しているもので、とやま国際センターでは広報や生活相談等で協力しています。

領事館業務では、旅券や委任状等の申請があり、今年度は324件(平成18年:341件)が処理されました。

相談業務では、医療相談20件、法律相談32件、入管相談16件、生活相談6件の相談がそれぞれありました。

受付開始時間のかなり前から多くのブラジル人が列をなして、この一日移動総領事館に対する関心の高さが窺えました。

第1回富山県多文化共生推進連絡会議

日時:平成19年6月7日(木) 13:30～
場所:富山県市町村会館2Fホール

富山県内の外国人登録者数が年々増加する中、地域に定住する外国人住民と日本の住民が共に元気に暮らすことができる地域社会づくりを進めるために、「富山県多文化共生推進プラン」が3月に策定されました。



当センターでは、この推進プランに基づく各種施策を推進するため関係機関相互の連絡調整や情報交換を行うため、富山県多文化共生推進連絡会議を立ち上げました。

今回の会議では、富山県関連事業や富山労働局等関係機関の状況報告後、活発な意見交換が行われました。

また、連絡会議後に開催された相談事業部会では、今年度の外国人住民のための専門合同相談会の内容が検討され、第1回を7月22日(日)に富山市で、第2回を9月30日(日)に高岡市で実施することが決定しました。

新しい国際交流員よりご挨拶！

こう かんぐん 高 冠軍さん (中国)

皆さん、こんにちは！中国から派遣されました国際交流員の高冠軍です。出身は遼寧省の瀋陽市です。

4月13日に富山県に来て、あっという間に時間が経ちました。美しい自然と温かい人情に触れて、富山のことが本当に好きになりました。評判どおりに素晴らしい街ですよ。

遼寧省と富山県とが、1984年5月に友好省県を締結して以来、たゆまぬ努力と変わることのない友情で友好の絆を深めてまいりました。いま、職員、留学生の相互派遣のほか、工業、農業、水産業、医学、環境、スポーツ、文化、教育など、幅広い分野で活発な交流が行われております。

国際交流員として富山県に来ることができて光栄に存じます。もし、私の努力で遼寧省と富山県をはじめ、中日両国の相互理解、貿易経済、科学技術、文化教育など各方面の交流を促進することに、いささかなりとも貢献することができたら、嬉しく存じます。これから、中日交流のかけはしとして、力を入れて、頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



ひょう そばい 憑 素梅さん (中国)

皆さんこんにちは！馮素梅です。上海からの初めての国際交流員として富山に来ることができてとても嬉しいです。

去年、北京の大学院を卒業して上海に行ったばかりなので、上海よりむしろ北京のほうが詳しいかもしれません。上海人はお洒落で、上海弁も柔らかくて聞きやすいです。上海は国際的な大都会ですが、昔の伝統も保存されて残っています。私は他に北京に3年、大連に4年暮らしたことがあり、両方とも故郷のような感じです。出身地は洛陽です。三国志に登場する中国古代の有名な都の一つです。石仏やお寺など観光地がいっぱいありますよ。

今までに日本での生活経験は1ヵ月半しかありません。実際に暮らしてみても多くのことを感じました。東京や大阪の高層ビルと繁華街に感心したと同時に、富山の豊かな自然と温かい人情にも感動しました。礼儀正しく、生き生きと仕事に取り組み、バラエティな生活を楽しむ日本人と共に暮らすのは本当によい機会ですね。日本での出会いを大事にし、仕事を頑張って一年後の成長した自分を楽しみにしています。



エヴェルソン・レモスさん (ブラジル)

はじめまして。ブラジルのサンパウロ市から来た、エヴェルソンです。国際交流員として4月から勤めています。

13歳のとき日系人の友達に誘われて日本の宗教の教会に行き、初めて日本文化と接しました。仲間がほとんどみんな日本に行った事があり日本の面白い話をたくさん聞かせてくれたので私も日本に来たくなりました。

1996年に初めて日本に来ることができました。その時、私の僅かな日本語能力を駆使していろいろな楽しい経験をして、帰国後は大学で日本語を専攻する決心をしました。

大学3年のとき、日本の文部省の奨学金を受け大阪外国語大学へ留学し、研究の関係で在日ブラジル人の問題も知りました。留学後はサンパウロ市の国外就労者情報保護センターで日本語を教えながら、在日ブラジル人の事情をさらに詳しく知りました。

今回、富山県、そして在日ブラジル人のために働く機会を与えて頂き、少しでも役に立つように、全力を尽くして頑張りたいと思っています。よろしくをお願いします。



きむ すへ 金 羞該さん (韓国)

皆さん、アンニョンハセヨ！韓国から参りました金羞該です。京畿道驪州出身で、大学では貿易を専攻しました。

大学4年の時、富山大学で1年間交換留学したことがあり、富山に来たのは今回で2回目となります。留学中も、掛け替えのない思い出を沢山作りながら楽しい生活を送りましたが、また富山の素晴らしい景色や優しい人々に囲まれ、仕事をする事ができて本当に嬉しく思っています。

私が国際交流員になりたいと思ったのも、留学中ボランティアとして参加した「JET世界祭り」がきっかけでした。今、このように国際交流員として素敵な経験をさせていただいているのもきっと富山のお陰でしょう。今は、前より韓国に関心を持ってくれる人も増え、もっと多くの方と韓国のいろいろな話ができてとても嬉しいです。(大体韓国のドラマの話が多いですが…)

これからは、もっと韓国の様々な文化を紹介し、ドラマ以外にも素敵な韓国文化を知っていただきたいと思います！韓国に興味を持っている方、韓国を知りたい方！ぜひ気軽に声をかけて下さいね。



Владивосток

ウラジオストク紀行

ロシアの太平洋側における最大の港湾都市ウラジオストク。“東方を征服せよ”という意味の名をもつこの都市は、ロシア海軍の太平洋艦隊が置かれる軍港都市でもあります。シベリア鉄道の起点でもあるウラジオストクは、1958年から1991年までは外国人には閉ざされた街でしたが、ソ連崩壊後は貿易をはじめとしたビジネスが多く興っています。漁業が盛んで商業生産の5分の4を占めています。

今回はガイドブックではわからない話も織り交ぜ、ウラジオっ子の国際交流員ディナラさんがウラジオストクの街の魅力を皆さんにご紹介します！



坂の街ウラジオストク

ディナラさんお薦め ウラジオストクの街を巡る3つのコース

コース その1 歴史の街ウラジオストクを巡ろう！



ウラジオストク中央駅
シベリア鉄道の起点。モスクワまでは9,297キロ。庁舎は1912年に建設された。



中央広場
ウラジオストク市民の憩いの場となっている広場。これはロシア極東でソビエト政権のために戦った戦士の像。



ウラジオストク要塞博物館
ウラジオストクに点在する要塞跡。市内の要塞博物館では、ウラジオストクと要塞の歴史が紹介されている。



アルセーニエ
1906年の建築。戦だった。沿海地方絵画などが展示さ

コース その2 ウラジオストクの“日本”を探そう！



与謝野晶子の歌碑
パリの与謝野鉄幹を追いかけウラジオストクからシベリア鉄道で旅立つ際に詠んだ歌。極東大学にある。



富山ウラジオ友好庭園
富山ウラジオストク協会会長森本芳夫氏の寄付金を基に造成された。ウラジオストク経済サービス大学にある。



チューリップ園
同じくウラジオストク経済サービス大学の敷地内にある“沿海地方-富山県友好花壇”



旧日本
オケアンズあり、今はる。日本人

コース その3 街角にみるロシアの日常生活！



スヴェトランスカヤ通り
街路樹が赤く染められているのは虫除け。毎年春に葉が撒かれる。



キオスク
ロシア版コンビニエンスストア。品揃えは豊富だが注文するには若干のロシア語かポディランゲージが必要。



スヴェトランスカヤ通りの掲示板
ロシア人にとって劇場に足を運ぶことはごく日常のこと。街角の掲示板にチラシがたくさん貼られている。



金角湾の
坂の街ウラジオ乗る子供を見ること非常に珍しい。

ウラジオストクは147年の歴史しかない若い街ですが、土地を求めて様々な人種が移民として入ってきたこと、ヨーロッパだけではなくアジア、環日本海地域との交流をもってきたことが、モスクワやサンクトペテルブルグとは一際違う国際的な雰囲気を出しています。そういう意味でウラジオストクの人は“本来のユーラシア人は自分達、極東人である”と誇りをもっている事があります。多民族の街ということで象徴的な存在なのは、ウラジオストク出身の俳優ユル・プリンナーでしょう。彼の中にはロシア、スイス、モンゴルの血が入っています。

またウラジオストクは港の町としてビジネスが盛んです。同じ極東でもハバロフスクの人は「ウラジオストクの人は話すのも何をするのもとにかく速い」と言います。

1899年の設立以来、極東大学はロシアにおける最も権威ある日本語の高等教育機関の1つとされてきました。ウラジオストクが外国人に閉鎖されていた時代も、日本語科の学生は外国人の滞在が許されていたハバロフスクまで足を延ばし、夏の間日本人の観光ガイドをするという実習を続けてきました。

ウラジオストクは坂と雨と風の街と言われます。旅行をするには雨が少ない8～9月がお薦めかもしれません。また冬場も晴れている日が多いのが特徴です。ロシアの極寒を体験するのもまたいいものです。建物の中はセントラルヒーティングになっていますので、もしかしたら日本の冬より暖かいかもしれません！



◀国際交流員のディナラさん



フ郷土誌博物館
前は旧横浜正金銀行の歴史や動物生態、植物の生態等をもとめた。



ウラディミール・アルセーニエフ
極東出身の探検家。黒澤明が映画化した“デルスウザー”を執筆。極東の少数民族、植物の生態等をまとめた。



本総領事館
キー大通り沿いに裁判所になっている街の面影が伺える。



日本料理店
ウラジオストク市内には日本料理店が4, 5軒ある。スヴェトランスカヤ通りにあるこの店の名は“7人の侍”。



見える丘
トク。自転車で日本とは違う



中央広場で花を買う
飾り気なく売られている花々。花屋で買うより安く、みんなが買い物帰りに買いたくなるのも納得。

ロシア人に聞く5つの質問



問1 どうしてロシアには美男美女が多いんですか？

分かりません。第一それぞれの民族にはそれぞれの美しさがあると思いますが……。ロシアは多民族国家なので美人の定義も人それぞれですね。またロシアでは顔だけではなくスタイルの良さを評価する部分が大きいです。



問2 どうしてロシア人は笑わないんですか？

まず誤解を解くために言いますが、友達同士などでは当然よく笑います(笑)。ロシア人は仕事や授業中に笑ったりするのは人をからかっているような不真面目な印象を持ちます。サービス業に従事する女性などは男性客に声をかけられるような面倒を避けるために笑わないことも多いです。



問3 ロシアの教育で日本と違う点がありますか？

ロシアは小学校から大学へと教育が高等なレベルになっていくにつれ勉強は難しくなっていきます。小学校の違いを見ると、算数は日本の場合は計算に重点が置かれますが、ロシアは文章題で、何故この回答に至ったかを必ず説明させます。国語は“ロシア語”と“音読”に分かれていて、音読の時間では物語、詩などを鑑賞します。中学からは音読の時間は文学の時間となります。



問4 日本で不思議なことは？

日本の全ての地域が東京のような人口密度だと思っていましたが、実際は農地や山など自然が豊かで、思ったより“広い”という印象があります。また、近代的な大都市の中でも伝統的な着物を着て歩いている人がいたりして、近代性と伝統が共存するユニークな国です。



問5 ロシアで有名な日本人って誰ですか？

橋本龍太郎はエリツィン時代に日露関係を友好に導いたことでよく知られています。北野武、宮崎駿、また芥川龍之介、安部公房、村上春樹など数多くの小説家たちも有名です。2007年ミス・ユニバースの森理世さんなどがよく知られています。

～富山からのウラジオストクへのアクセス～

【飛行機】

富山空港－ウラジオストク空港
週3往復 月・水・金 12:10発
問い合わせ先：ウラジオストク航空
TEL 03-3431-2788

【船】

伏木港－ウラジオストク港
毎週金曜日(夏季) *その他不定期便
問い合わせ先：FKKエアサービス(株)
TEL 0766-22-2212



JICAボランティア春募集が終了

独立行政法人国際協力機構（JICA）が行う、青年海外協力隊（以下JOCV）及びシニア海外ボランティア（以下SV）の19年度春募集が、4月10日（火）から5月25日（金）に行われました。

富山県で行われた3回の募集説明会では合計JOCV30名、SV20名の方が参加され、会場に訪れた帰国ボランティアの方々の活動体験談を聞いたり、途上国の生活事情について質問して日本と派遣国の習慣の違いに驚いたり、活発な交流が行われました。

JOCVでは大学生から社会人経験のある方まで、SVでは定年後に経験と知識を生かして、海外ボランティアに参加したいと考えておられる方々に、たくさん参加していただきました。



前列左端はボリビアにてH16青年海外協力隊活動時のJICA国際協力推進員の宮本です！

次回の募集は10月～11月頃の予定です。



JICAボランティア元隊員からの現地レポート

今回はケニアから届いた青年海外協力隊 松岡裕子さんからりお便りをご紹介します。

ケニアの人々の様子を、いくつかのトピックとともに紹介します。

「相互扶助（ハランベ）」

寄付金を募る集会のこと。葬式代、教育費を集めるための集会、教会の建設のための集会、収入向上グループが牛を飼うためのお金をあつめる集会など様々なハランベが行われる。当然のことだが、ハランベの手紙を受け取っていい顔をする人を見たことがない。皆、うわっ、嫌だな……って顔をして、「明日また来て」、「また今度ね」って先延ばしにする。

「NOと言えない性格」

相手をはっきりさせると悪いと思うのか、人々は頼まれるとNoと言えない。「今度の週末会える？」「うーん、週末になってみないと分からない」「様子を見てみるよ」の返事は別の用事がある証拠。不確定要素に左右されすぎる点も困りもの。大雨が降って身動きの取れないことも当たり前だし、急な客人、急な病気、急な葬式、長時間の停電、ガソリン切れで、当初の予定が大幅に変更になることも日常茶飯事。毎日がどたばた劇だ。



松岡 裕子さん

派遣国：ケニア

職種：エイズ対策

派遣期間：平成17年11月～19年11月

配属先：ケニアニャミラ県保健事務所

「水」

家の蛇口から水がめったに出ない（1年に10回未満）ことを大家に相談したところ、「外の蛇口からはタイミング次第で来る」と言われた。怒りを乗り越えて呆れたが、今ではそのタイミングもなんとなく分かるようになった。

「スマートなもの」

オシャレなもの、ナイロビでしか手に入らなさそうな都会的なもの、かっこいいものなどに対して、「スマートだね」という褒め言葉を使う。たとえば（私は県保健局勤務なのでTシャツにジーンズは適切ではない）、襟付きシャツにロングスカート、足元は光物のついたオープンサンダルにペディキュアをしていれば100点満点。指先は利き手以外にマニキュアを。利き手はご飯を食べるのに使う。

Voices from the World ～ロシア連邦・ウラジオストク～

世界の富山ファンからのメッセージ

セルゲイ・モストヴォイ さん（ウラジオストク経済サービス大学ランドスケープデザイン科博士課程在籍）

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 私は、ウラジオストク市で日本庭園風の造園プロジェクトに関わっています。ミンゴロドック公園に庭園を造る予定で、6月の初めに工事が着工する見通しです。また、現在日本庭園の造園設計をテーマに博士論文を仕上げようとしているところです。さらにロシアの人々に日本庭園の伝統芸術を紹介する目的で、雑誌に記事やエッセイを書いたり、国際会議でプレゼンテーションも行いました。将来的には日本庭園の歴史や設計原理、造園士のための実際的なガイドラインについてたくさんの本を書きたいと思っています。

Q. ウラジオストクの状況について教えてください。

A. 今ウラジオストクは、梅やシャクナゲの花が満開で大変きれいです。晴れて暖かい日が続いており、日本を含む様々な外国からの観光者が訪れています。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 私は2002年に富山県海外技術研修員として来日し、職藝学院と(株)久郷一樹園で研修を行いました。この期間に私は富山や京都のたくさんの庭園を訪れ、造園作業にも関わることができました。私を助け、支援してくれた職藝学院の先生方、久郷一樹園の従業員の皆さんには本当に感謝しております。私にとっては素晴らしい経験でした。このような幅広い実際的な経験を得る機会を与えてくれた富山県に感謝しています。



セルゲイさん（京都・銀閣寺にて）

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 富山の皆さんこんにちは。是非ウラジオストクにお越しください!!

とやま発 地域日本語教室リレー

～今回は富山市のとやまガイドクラブ日本語教室をご紹介します～

毎週土曜の夜は多くの受講生で賑わいます。日本語検定の勉強をする人、漢字の勉強をする人……まさに熱気溢れる学習意欲です。“来るもの拒まず、去るもの追わず”をモットーに、各ボランティアの裁量に任せた自由な雰囲気のある教室です。教室では、日本語ボランティアを募集しています。また使い古しの日本語教材などがあれば是非ご一報ください!!



代表者	津林 裕子
活動場所	富山市奥田寿町23-13 奥田公民館
TEL	090-8092-5078
FAX	076-441-2959
E-mail	sen_kuru_megustamas@softbank.ne.jp
講師	ボランティア10名
学習者人数	約20名 約5カ国
活動日時	毎週土曜日 19:00～21:00
参加費用	無料

ニュージーランド出身
マリエル・トナーさん
お薦め料理!

ハンギ

ハンギはニュージーランドの先住民マオリ族に何百年も伝わってきた伝統的な料理です。地面に穴を掘り、その中に熱した石を入れ、蒸気を利用し、葉にくるんだ肉や芋、野菜を置いて蒸し焼きします。バーベキューのようなものですが、7時間程度準備にかかることもあり、特別の日の料理となっています。例えようのない香りとジューシーな味をお楽しみください。



～作り方～

1. 地面に穴を掘り、火をおこす。(ゆっくり燃える硬い木で)
2. 火の中に石を置き最低3時間石を熱する。(石は軽くて、熱しやすい火山岩が適当) 調理に要する熱さを保つために十分に熱する。
3. 火が消えたら、灰を始末する。(※味に影響するため)
4. 針金で作った籠に湿った綿、もしくはホイルをひき、タロイモなどの葉にくるんだ肉(鶏肉、貝、豚肉、羊)や野菜(芋、かぼちゃ、人参、玉ネギ、トウモロコシ等)を入れる。ローズマリーなどのハーブやニンニクを風味付けに加えてもいい。
5. 肉類の籠は下に、野菜類の籠は上に置く。(二段以上にはしないこと) 籠をホイルが濡れた布で覆う。(濡れた布は調理に必要な蒸気を作るために必要。水を撒いてもいいが、石の熱が冷めない程度にする)
6. 穴全体を防水シートで覆い、蒸気を逃がさないように端に土を被せる。
7. 2時間半から3時間程度蒸せば出来上がり。この間、蒸気が穴から逃げないように注意をすること。
8. ネギを添えて出来上がり。

～材料～

肉、貝、芋類、野菜、
ハーブ、ニンニク など



“ワイルド”な
アウトドア料理
です!



TICからのお知らせ

これからの行事予定

市町村国際協力・交流担当課長連絡会議

7月12日(木) 14:00～16:30
富山県国際交流センター (インテックビル4階)

とやま国際塾

7月14日(土)～15日(日) 国立立山少年自然の家
国際理解・協力コース (中・高校生30名)
研修員・留学生との国際理解ワークショップ
留学実践コース (中・高校生30名)
すべての授業を英語で受ける留学体験

外国人住民のための専門合同相談会

第1回 7月22日(日) CiCビル5階 多目的ホール
第2回 9月30日(日) ウイング・ウイング高岡5階 会議室
受付 12:30～
相談 13:00～16:00

2007年度日本海学講座

第2回 環日本海のバイオマスと環境
7月7日(土) 13:30～15:00 富山県民会館 401号室
「バイオマス(生物資源)が環日本海域環境に果たす役割」
第3回 若者にもっと海を語ろう
9月1日(土) 13:30～15:00 富山県民会館 701号室
「富山湾から海を学ぼうーある海洋教育の試み」

(財)とやま国際センター賛助会員募集中!

国際交流・協力事業にご支援いただけるようお願いいたします。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

* 賛助会費に対しては税法上の優遇措置があります。

環日本海交流会館ボランティア室を活用しよう!

環日本海交流会館には1,000点以上の日本語関係の書籍や教材、ビデオを配置しています。日本語ボランティアをされている皆さん、日本語学習教材等をお探しの皆さんは是非ご利用ください。貸出しも可能です。パソコン、コピー機(有料)、紙折機も利用できます。

【環日本海交流会館 開館時間】

月～金曜日 10:00～21:00 (水曜を除く)
土、日、祝祭日 10:00～17:00
TEL 076-444-7679

<http://www.tic-toyama.or.jp/kaikan/kaikan.html>



ポルトガル語電話通訳サポート

とやま国際センターではポルトガル語による電話通訳サポートを始めました。市町村窓口や公共施設窓口で日本語の話せないブラジル人の対応が困難なケースなどにご利用ください。

【対応時間】

月・水・金曜日 12:30～16:30
(祝祭日、年末年始を除く)

TEL 076-441-5654 (専用電話)

FAX 076-444-2600

* 通訳の内容は窓口サービス等に係る内容に限定します。

